



「こどもの読書週間」関連展示

「山口県ゆかいの子どもの本」

展示期間：令和6年3月30日(土)～令和6年5月30日(木)

山口県子ども読書支援センターは、平成16年（2004年）4月に山口県内の子ども読書活動の推進拠点として県立図書館内に設置されました。令和6年（2024年）度に開設20周年を迎えます。

山口県には、子どもの本の作家が多くおられます。今回の展示では、センター開設20周年を記念して、山口県にゆかりのある方の著作や、山口県が舞台となった子ども向けの絵本や物語等を紹介します。本を通してふるさと山口を身近に感じ、新たな本や作家に出会うきっかけとなりますように。

- 配布資料：第1部 山口県にゆかりのある作家たち50名の著者紹介
第2部 山口県が舞台となる本のリスト（令和6年3月作成）

4月23日～5月12日 「こどもの読書週間」



子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、2000年より、今の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとっても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。

公益社団法人読書推進協議会HP (<http://www.dokusyo.or.jp/jigyo/kodomo/kodomosozai.htm>) より抜粋

4月2日 「国際子どもの本の日」

童話作家アンデルセンの誕生日(4月2日)は、「国際子どもの本の日」です。子どもに本のよこびを、大人にも子どもの本のおもしろさをつたえるため、1967年、IBBY(国際児童図書評議会)によって定められました。世界中で子どもと本のお祭りがひらかれます。

(JBBY 日本国際児童図書評議会 HP (<https://jbbj.org/>) より抜粋)

4月23日「子ども読書の日」

国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。子ども読書の日は、四月二十三日とする。

(参考：文部科学省 子どもの読書活動の推進に関する法律 第10条より)

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_001/001.htm

